

奈良県感染症情報

平成 28 年 第 34 週(8 月 22 日～ 8 月 28 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.59	(2.94)	➡	↘	➡	↓
2	流行性耳下腺炎	1.56	(1.18)	➡	↘	➡	↑
3	A群溶連菌咽頭炎	1.03	(0.85)	➡	↘	➡	↑↑
4	ヘルパンギーナ	0.74	(0.38)	↓	↓	↓	↘
5	突発性発しん	0.68	(0.44)	➡	↘	↗	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

流行性耳下腺炎(おたふく風邪・ムンプス)は、例年と比べるとかなり高いレベルが続いています。流行性耳下腺炎は、2～3週間の潜伏期の後、唾液腺の腫れや痛み、発熱から始まります。接触感染、飛沫感染で広がり、その感染力はかなり強いとされます。合併症として、無菌性髄膜炎が約10%に出現するとされており、思春期以降の感染では、男性で約20～30%に睾丸炎、女性では約7%に卵巣炎を合併するとされています。また、非常にまれですが **20,000例に1例***程度に難聴を合併すると言われており、永続的な障害となる重要な合併症のひとつです。唯一の予防方法はワクチン接種です。

*1,000例に1例という調査結果もあります。

マイコプラズマ肺炎も、引き続き高いレベルが続いています。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

まだ、猛暑が続いていますが、ヘルパンギーナ等の夏かぜは減少しました。潜伏期間の長い伝染性紅班や流行性耳下腺炎が継続的にみられます。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は多くない。

夏風邪が主。ただしヘルパンギーナ、手足口病は殆ど見られない。

咽頭結膜熱が急増中で学童を初発に成人にまで家族内感染している。

ただし咽頭検体ではアデノ陰性。

水痘、流行性耳下腺炎の流行が続いている。

感染性胃腸炎も少しづつ見られる。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ムンプスの流行が依然続いている。髄膜炎併発例もあるがいずれも軽症。

ヘルパンギーナの流行はかなり落ち着いてきた。8月下旬より遷延する激しい咳嗽、反復する発熱の呼吸器感染症が増加している。炎症反応軽度、各種迅速検査陰性、胸部レントゲンでも大きな変化はないが、大人も含め家族内感染している。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 第 34 週 8 月 22 日 ~ 28 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	8 (0.24)			2 (0.29)	6 (1.00)			
咽頭結膜熱	20 (0.59)	7 (0.78)	5 (0.56)	6 (0.86)	2 (0.33)			
A群溶連菌咽頭炎	35 (1.03)	4 (0.44)	4 (0.44)	6 (0.86)	18 (3.00)		3 (1.50)	
感染性胃腸炎	88 (2.59)	18 (2.00)	10 (1.11)	14 (2.00)	46 (7.67)			
水痘	2 (0.06)	1 (0.11)		1 (0.14)				
手足口病	3 (0.09)		2 (0.22)		1 (0.17)			
伝染性紅斑	9 (0.26)	5 (0.56)	3 (0.33)	1 (0.14)				
突発性発しん	23 (0.68)	8 (0.89)		5 (0.71)	8 (1.33)		2 (1.00)	
百日咳								
ヘルパンギーナ	25 (0.74)	3 (0.33)	7 (0.78)	9 (1.29)	3 (0.50)		3 (1.50)	
流行性耳下腺炎	53 (1.56)	15 (1.67)	3 (0.33)	12 (1.71)	15 (2.50)		8 (4.00)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	13 (1.30)	5 (1.67)	3 (1.00)	5 (2.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)					
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	7 (1.17)		5 (2.50)		1 (1.00)		1 (1.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)				1 (1.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市1、中和4)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山1)
4類感染症	
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1)

❖ 第 34 週のトピックス ❖

ジカウイルス感染症に関する注意喚起について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000134968.pdf>

シンガポールで、ジカウイルス感染症が多数報告され、流行している地域に追加されています。(アジア地域では、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムも)

妊婦及び妊娠の可能性がある方は、可能な限り流行地域への渡航を控えてください。(※世界保健機関(WHO)は、妊婦は流行地域への渡航をすべきでないと勧告しています。)

また、性行為により、男性から女性パートナーへ感染した事例が報告されています。流行地域から帰国した男女は、症状の有無にかかわらず、最低8週間、パートナーが妊婦の場合は妊娠期間中、性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えることを推奨します。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男																						7742	
	女																							7517
RSウイルス感染症	男			1				1															3	182
	女		1		1	1																		5
咽頭結膜熱	男			1	3	3		2						1									10	274
	女			4	4			1					1										10	249
A群溶連菌咽頭炎	男			3	3	1	6		4	3	1			1									22	1127
	女			1	2	1	2		3	3	1		1	2									13	923
感染性胃腸炎	男		3	13	9	4	4	3	1	3		1	1			5							47	3007
	女		3	7	3	4	4	1	4		1	1	3	1	9								41	2677
水痘	男								1														2	189
	女										1												2	140
手足口病	男						1																1	59
	女			1					1														2	47
伝染性紅斑	男				1		1	1	2														5	362
	女						1	1		1					1								4	390
突発性発しん	男		6	6																			12	321
	女		3	7	1																		11	295
百日咳	男																							5
	女																							4
ヘルパンギーナ	男		1	4	4			2		1	1												13	522
	女		1	3	5	2			1														12	455
流行性耳下腺炎	男			2	2	2	4	5	3	3	1	4	3										29	857
	女			1	2	1	6	7	4	1		1	1										24	729
急性出血性結膜炎	男																							1
	女																							2
流行性角結膜炎	男										1				1	1							3	54
	女		1	1											3	3				1	1		10	68
細菌性髄膜炎	男					1																	1	7
	女																							3
無菌性髄膜炎	男																							4
	女																							2
マイコプラズマ肺炎	男		1	3	1																		5	85
	女		1				1																2	77
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男			1																			1	1
	女																						1	54

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均

